

労働無災害450日達成

気仙沼市
ミヤカン

中災防から努力賞

気仙沼市本浜町の缶詰製造会社・ミヤカン（福島庸夫社長）が、連続450日間の労働無災害記録を達成し、中央労働災害防止協会（中災防）から努力賞を受けた。

中災防は、中小企業が行う安全衛生活動の目標となるよう「中小企業無災害記録証授与制度」を設け、一定程度、無災害記録を達成した事業所に記録証を贈り、たたえている。事業所の稼働日を対象に、死亡事故、休業1日以上の休業災害が未発生の日数をカウント。記録日数の基準は従業員規模別に5段階あり、ミヤカンが該当する「50～99人」の規模では、第1段階の450日で努力賞、3050日達成で最高の金賞の記録証を受けられる。

ミヤカンは、2021年4月24日から無災害を継続。今年1月18日で連続450日を達成し、協会から記録証と記念の盾を受けた。



記録証を手にする福島社長

同社は、現場責任者が危険箇所がないか、日常的に巡回しているほか、加工機材の巻き込みを防ぐためにカバーをつけるなどして従業員の安全を確保。定期的なビデオ研修も行い、災害ゼロの継続に社員一丸となって取り組んでいる。

東日本大震災で被災し、鹿折地区に再建した同社は15年の操業開始以降、毎年労災が発生。反省をきっかけにした地道な意識づけが事故防止につながっているという。

福島社長は「記録達成が労災防止に向けた社員の共通目標になっている。これからも安心して働ける環境を整えながら、無災害を続けたい」と話した。